

もちつき



天候に恵まれる中、今年一年、大きな病気やけがもなく過ごせたことに感謝し、また来年も元気に過ごせますようにと願い、恒例のお餅つきをしました。昔ながらの石の臼と杵を目の前にし、子どもたちは興味津々です。蒸しあがった餅米の湯気が見えると「わぁー！」と歓声があがり、「なんか、おいしてきた〜」とにおいを嗅ぐことやお餅の感触など、さまざまな五感が刺激され、言葉、表情、しぐさで表現していました。つきたてのお餅をたくさん食べて、お腹も満たされ満足感で笑顔いっぱいの子もたちでした。



最初に5歳児が他のクラスのお手本となるように力を入れてつきました。異年齢児も真剣に見守っていました。



3歳児「よいしょ〜、よいしょ〜」かけ声に合わせて餅をつきました。



4歳児は3歳児が、餅をつくときに杵の動きに合わせて大太鼓を叩き



3歳児「いいにおいするなあ」と餅米が蒸されたにおいや、つきたての餅を触り「あったかい」「ふわふわや」と感触を楽しみました。



4歳児杵を両手で持ち、「よいしょ〜」のかけ声に合わせて力いっぱいつきました。



4歳児きなこ味、砂糖醤油味の2種類があり、できたての餅はとても美味しく何回もおかわりして食べました。

5歳児七輪でおもちを焼くことにも挑戦しました。「いいにおいしてきた」「もうすぐふくらんでくる」「少し茶色くなった方がいいな」とおもちの状態を良く観察して、焼き加減を気にかけていました。



2歳児臼と杵でつくのを見て「よいしょよいしょ」と声を出し、餅が伸びているところを見て「おもちできてきたな」と出来上がりを楽しみにしていました。



1歳児初めて餅つきを見る子もいて「何だろう」と不思議そうに見ていました。ビニール袋に入れたお餅を、袋の上からにおいを嗅いでみたり「やわらかいな」「ぷにゅぷにゅ」と言って保育士と感触を味わっていました。



2歳児はお部屋で機械餅をつきました。餅米の状態から、出来上がりまでの中で、蒸されているにおいを嗅いで、「なんか、においするな」や「丸くなってきた」「先生、見て」など、友だちと話すことや、保育士に知らせにくるなど、餅の状態をよく見ていました。

0歳児ビニール袋に入れてもらったお餅を、袋の上からギュッと握ったりパンパン叩いてぺったんこにしたり、ほっぺに当てたり色んな感触を味わっていました。

